

第54回 全国老人クラブ大会

11月5日・6日の両日、水戸市民会館で開会。1,247名が参加しました。

第1日 活動発表

コーディネーターに福人ラウンジ主宰金井敏先生を迎えて、茨城県老連の菊田進夫さんと大分県老連の陶山明美さん、岩手県老連の菅野礼子さんが、事例発表されました。

最後に、地域共生社会における福祉のあり方を考えると、なによりも健康であること、日々を楽しく暮らすこと、そして振り返って納得のいく尊い人生を送ることが大切であり、クラブ活動は、これまでの歩みをさらに深め、より充実した毎日を味わうための貴重な時間となります、と結ばれました。

第2日 オープニング映像・講演・式典

茨城県と水戸市の紹介映像の後、苗字研究家の高信幸男先生による講演。

「あなたの知らない名字の世界～名字には隠れた日本文化がある～」と題して、名字って何？名字はどうしてついたの？名字には地域性はあるの？珍名はなぜ生まれるの？全国の珍名さんは？と読めない名字、思わず吹き出す名字、おかしな意味の名字など名字の歴史性や奥深さを紹介されました。

式典 まずは、坂本鉄夫茨城県老連会長の歓迎の言葉、そして村木厚子全老連会長による主催者あいさつ。この中で、スウェーデンの若者支援策と老人クラブのあり方が類似すると話されました。その後、表彰、祝辞、宣言朗読と続きました。

次期開催地は鳥取県、岡森裕鳥取県老連会長よりあいさつ。「鳥取県は53万人と人口の一一番少ない県ですが、鳥取砂丘、大山、浦富海岸など豊かな景観資源、梨、松葉ガニ、鳥取和牛、大山鳥などおいしいものもあります。皆さん、来年は、語らい、食べて、飲んで、楽しんでください。精一杯おもてなしをします」と意気込みを語られました。

最後に村上光夫全老連副会長の謝意の言葉があり、大会は終了しました。



水戸駅で、黄門様、助さん、格さんと記念写真



【全老連会長表彰の受賞者】

老人クラブ育成功労表彰

加藤 杉（千種区）
平井 通哉（北区）



女性リーダー老人クラブ育成功労表彰

村瀬 喜美代（市老連女性委員会）

若手リーダー老人クラブ育成功労表彰

伊藤 彰（昭和区）

優良郡市区町村老人クラブ連合会表彰

中村区老人クラブ連合会

（敬称略）

私たちは、名古屋市老人クラブ連合会の活動を応援しています